Zパック　ミドルタイプ 取扱説明書

ZKP－250

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書には、製品の取り扱いかたや安全上の注意事項を示しています。
●取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© Copyright　ZOUKEN　CO. , LTD.　2005

zouken

もくじ

はじめに 3

最初に必ずお読みください.....4

安全にお使いいただくために 5

使用上のお願い.....7

準 備.....8

製品の確認..... 8

保守部品..... 8

各部の名称.....9

設 置..... 12

電源の接続..... 13

フィルムのセット 14

フィルムを装着する..... 14

緩衝材の良否確認（目安） 16

フィルムのズレ修正 17

操作手順 18

液晶パネル表示..... 18

エラー表示 21

こんなときは.....23

点検..... 23

保守用品の購入..... 24

保守部品の交換 25

テープの交換 25

ヒーター交換 27

クッションゴムの交換 28

Vベルトの交換 30

刃の交換..... 31

刃の調整..... 32

ブレーキパットの交換 32

正常に動作しないときは 33

付録 34

仕様..... 34

外形図 35

保証とアフターサービス 36

はじめに

この製品は、梱包用の緩衝材の加工を目的として設計･製造されています。
その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、
当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

＜焼却しても無害な梱包緩衝材＞製造機

●かんたん操作

連鎖数 1～99 列までの 120 ㎜～600 ㎜の 9 種類の緩衝材が、スタートスイッチを押すだけで、簡単に製造できます。ミシン目がついていますので、緩衝材の切り離しも簡単です。

●エコロジー

使用後は、エアーを抜いて体積を大幅に縮小でき、ゴミの量も減らせます。フィルムは焼却しても有害なガスを発生しないので、安心してお使いいただけます。

材質 ： ポリエチレン/ポリエステル（＞PE･PET＜）
破棄する場合は、各自治体にご確認の上処理してください。

最初に必ずお読みください

はじめてお使いになるときは、下記の順番で準備と操作をおこなってください。

＜設置するときは＞

- **箱の中に入っているものを確認する（P.8）**
- **Zパックを設置する（P.12）**
- **Zパックと電源を接続する（P.13）**

＜緩衝材を作るときは＞

- **初めて使うときは、フィルムセットのしかたをマスターしましょう**

  ・・・・「フィルムのセット」（P.14）

- **緩衝材の連鎖数や製品数は、タッチパネルで簡単に設定･変更できます**

  ・・・・「操作手順」（P.18）

- **ヒーターやカッター刃を交換するときは**

  ・・・・「保守部品の交換」（P.25）

安全にお使いいただくために

製品の取り扱いは、適切な資格を有する人が行なってください。
お使いになる前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この製品は、材料の送り出しを目的として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客さまや他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してからお使いください。

⚠警告	⚠注意	重 要
この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある場合を示しています。	**この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。**	**製品を正しくお使いいただくために、お客さまに必ず守っていただきたい事項を、本文中の関連する取り扱い項目に記載しています。**

⚠警告

全 般

- **爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、可燃物のそばでは使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。**
- **移動・設置、接続、保守・点検の作業は、適切な資格を有する人が行なってください。火災・感電・けがの原因になります。**
- **移動・設置、接続、保守・点検の作業時は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電・けがの原因になります。**
- **分解、改造しないでください。火災・感電・けが・故障の原因になります。**

操 作

- **発熱、発煙、異臭など、異常が発生したときは、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因になります。**
- **排気口に金属片や異物、指を入れないでください。感電・けがの原因になります。**

移動・設置・接続

- **電源を入れたまま、移動したり設置しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **電源コードは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、挟み込まないでください。火災・感電の原因になります。**
- **電源プラグのアース線を接地してください。接地しないと、感電の原因になります。**
  - **コンセントや電源ボックス内にアース専用端子が設けられている場合、その端子にアース線を確実に接続してください。**
  - **地面がやわらかい場合、地下 40cm くらいまでアース棒を打ち込むと安全です。**
- **交換用ヒューズは指定のものを使ってください。火災・感電・故障の原因になります。**
- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。感電・火災の原因になります。**

点検・保守

- **点検・保守の作業に入る前に、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。感電の原因になります。**

⚠注意

全 般

- 運転中に異常が生じたときは、すぐに電源を切ってください。火災・感電・けがの原因になります。取扱説明書で指示した項目以外の内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 警告ラベルを剥がさないでください。危険箇所が分からなくなり、けがの原因になります。
- 廃棄する場合は、産業用廃棄物として処理してください。

操 作

- 回転部に異物や指を入れないでください。けが・故障の原因になります。
- 回転部に、髪の毛、ネクタイ、ブレスレットなどを入れないでください。けがの原因になります。
- 停電時や、保護装置が働いて運転を停止したときは、電源スイッチを切ってください。復帰時に突然起動して、けがの原因になります。

移動・設置・接続

- 移動するときは、材料をはずして行なってください。故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置いてください。ぐらついたり、傾いたところに置くと、製品が倒れてけがの原因になります。
- 運転直後は素手で加熱部に触れないでください。やけどの原因となります。
- 素手でカッター刃に触れないでください。けがの原因となります

■ 警告表示について

Z パックの下記場所に、取り扱い上の警告表示をしています。必ずこの表示内容を守ってご使用ください。

使用上のお願い

Ｚパックをお使いいただくうえでの、制限・お願いについて説明しています。

フィルムについて

フィルムは、必ず当社指定のフィルムをお使いください。
指定以外のフィルムをお使いになったときは、フィルムの送りやシール部の仕上がりに異常がでることがあります。また、無償修理の適用が受けられなくなります。

つゆつき（結露）について

「つゆつき」がおきた状態でＺパックを使用すると、フィルムが痛んだり、詰まったりすることがあります。
「つゆつき」は次のような時におきやすいので、ご注意ください。

- 湿気の多いところや湯気の立ち込めているところ。
- フィルムを冷えた保管場所から急に暖かい室内に持ち込んだとき。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンの冷風が直接あたるところ。
- 室温が0℃～+40℃の状態（ただし凍結しないこと）でお使いください。
- **寒冷地での使用時は、特に「つゆつき」にご注意ください。**

フィルムの保存のしかた

お届けした箱の中に入れ、湿度変化が少ないところに保管してください。
直射日光のあたるところや熱器具のそば、湿気の多いところは避けてください。
落としたり強い振動やショックを与えないでください。
ほこりの多いところ及びカビの発生しやすいところは避けてください。

先端がとがった梱包物の輸送について

先のとがった梱包物を輸送するときは、緩衝材のエアー抜けを防ぐために、先端を別種の緩衝材（段ボールなど）で保護してください。

準 備

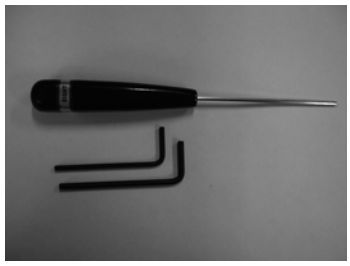
製品の確認

パッケージを開梱し、次のものがすべて揃っているか、確認してください。
不足していたり、破損している場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

⚠注意
Zパックをパッケージから取り出すときは、2人以上で取り出してください。けがの原因となります。

Zパック　ミドルタイプ　1台

電源コード　1本



柄付きレンチ　2㎜　　1本
（ホルダーに常時収納してください）
六角レンチ　2.5㎜　　1本
六角レンチ　3㎜　　1本

取扱説明書　（本紙）

保守部品（別売り）

品名	型式
ヒーター	ＨＦ-Ｍ
ヒーター用テープ	ＴＴ-Ｍ
ブロック用テープ	ＢＣＴ-Ｍ
Vベルト	ＶＢ-Ｍ
Oリング	ＯＲ２-Ｍ
クッションゴム	ＣＧ２-Ｍ
ブレーキパット	ＢＰ-Ｍ
カッター刃	ＨＴ-Ｍ

各部の名称

各部の名称

1. 電源スイッチ
「｜」側に倒すと電源が入ります。電源を切るときは、「○」側に倒します。

2. インレット
電源コードのソケットを差し込みます。

3. ヒューズホルダー (2 ヶ所)

4. 接地用端子

電源プラグのアース線を接続するか、この接地用端子を必ず接地してください。

5. 排気口
内部ファンにより熱風を排出しています。排気口の後方10cm以内には、物を置かないでください。

6. フィンガーガード
緩衝材の排出口です。手を入れた場合などは、センサーが感知し、保護機能が働いて非常停止となります。

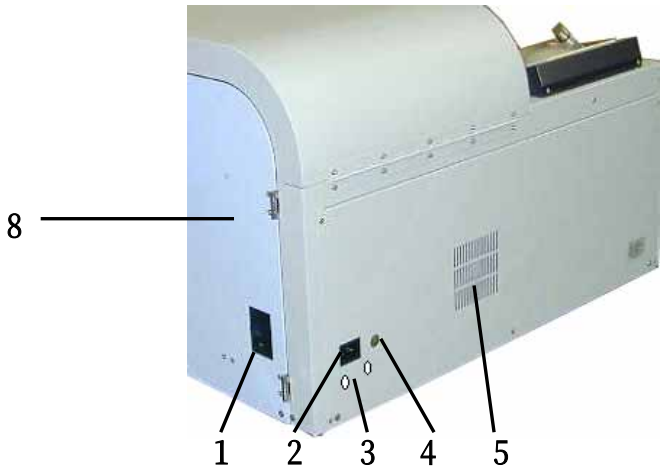
7. 操作パネル

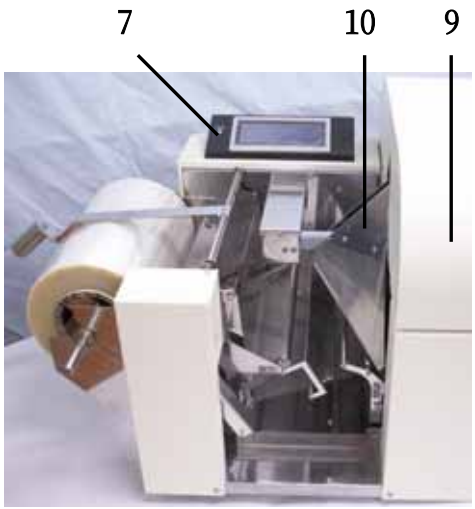
参照:操作手順 P18

8. 横カバー
フィンガーガードと一体になっています。取扱説明書で指示した以外は、開けないでください。運転時は、必ずカバーを閉じてください。開いたときは、保護機能が働き電源が入りません。

9. 上カバー
機構部の保護カバーです。取扱説明書で指示した以外は、開けないでください。運転時は、必ずカバーを閉じてください。開いたときは、保護機能が働き電源が入りません。

10. 三角板
帯状のフィルムを折り合わせて、筒状に成形します。
(参照:フィルムのセット P.15-7)





11. フィルムブレーキバー
フィルムの出すぎを防ぎます。(参照:フィルムのセット　P.14-2)

12. シャフトA

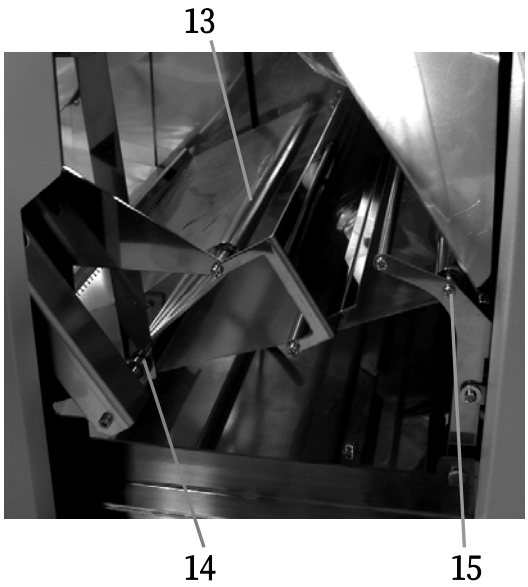
最初にこの下にフィルムを通します。(参照:フィルムのセット　**P**.15-6)

13. ローラーB
2番目にフィルムをかけるローラーです。フィルム切れを検知します。(参照:フィルムのセット　P.15-6)

14. ローラーC

3番目にフィルムをかけるローラーです。(参照:フィルムのセット　**P**.15-7)

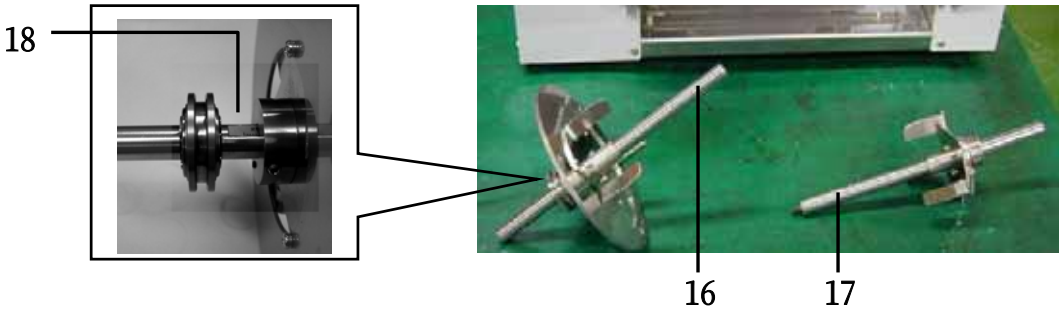
15. ローラーD
4 番目にフィルムをかけるローラーです。(参照:フィルムのセット　P.15-7)



16. フィルムシャフト1
フィルムロールを固定する奥側の金具です。(参照:フィルムのセット　P.14)

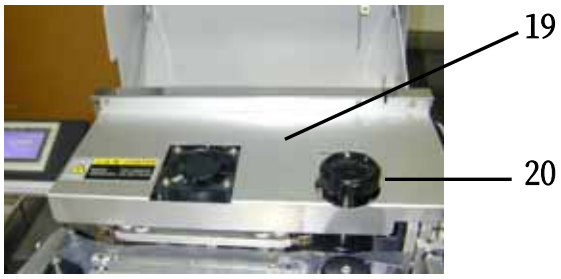
17. フィルムシャフト2
フィルムロールを固定する手前側の金具です。(参照:フィルムのセット　P.14)

18. フィルムセット目盛り
シャフト1に目盛りがついています。フィルムあわせの調整をします。(参照:フィルムのズレ　P.17)



19. 手動送り用ノブ (MANUAL FEED KNOB)
フィルムをセットしたときに、このノブをまわしてフィルムの送りを確認します。反時計まわりにまわすとフィルムをフィンガーガードの方向に送りだします。

20. ヒーターカバー
ヒーターブロック、カッター刃の保護カバーです。取扱説明書で指示したとき以外は、取りはずさないでください。動作中は、必ずヒーターカバーを取りつけてください。

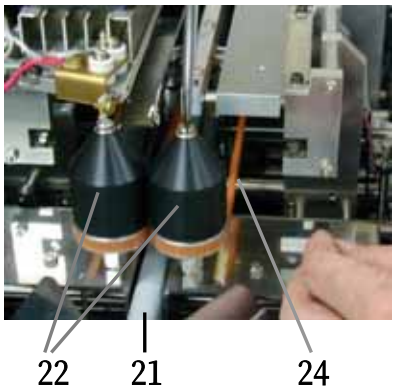


21. エアパイプ
内部のファンから送風して、フィルム内にエアーを供給します。

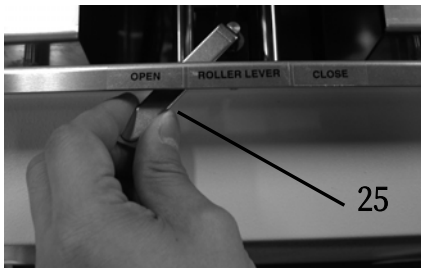
22. ローラーE
フィルムをヒーターブロックに送るローラーです。

23. ローラーF
フィルム搬送用ローラーです。

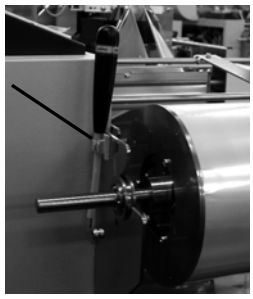
24. Vベルト
ベルトにフィルムカスなどの汚れが付くと、緩衝材の不良や送り不良になることがあります。
(参照:保守部品の交換　P.30)



25. ローラー開閉用レバー
ローラーEの開閉用レバーです。
CLOSE:緩衝材作製時は、必ずCLOSE側に倒してください。
OPEN:フィルムをローラーE間に通すときに、OPEN側にします。
(参照:フィルムのセット　P.15-8)



26. 柄付きレンチホルダー
付属品の柄付きレンチを常時収納しておいてください。フィルムのズレ修正で使用します。
(参照:フィルムのズレ修正　P.17)



27. 垂直ヒーターブロック
設定した長さにシールします。

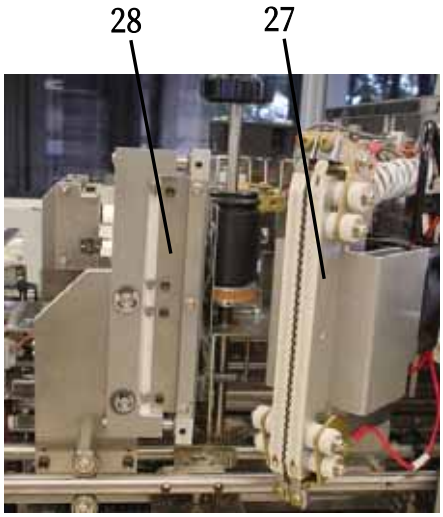
28. 垂直ヒーター用クッションゴムブロック
ブロックに張られているゴムが、汚れたり、クッション性が悪くなったら交換してください。(参照:保守部品の交換　P.29)

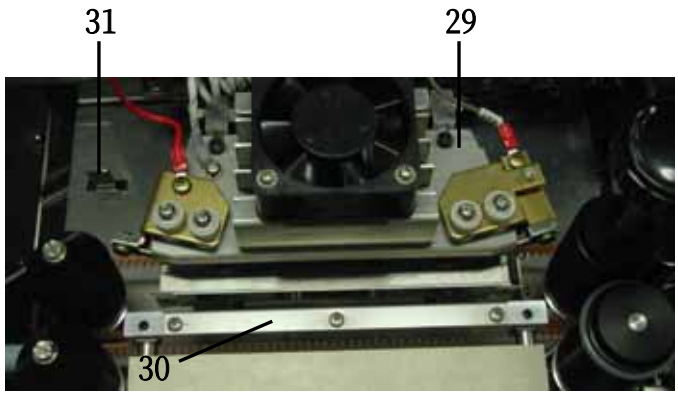
29. 水平ヒーターブロック
フィルムの折り合わさった部分を接合します。

30. 水平ヒーター用クッションゴムブロック
ブロックに張られているゴムが、汚れたり、クッション性が悪くなったら交換してください。(参照:保守部品の交換　P.28)

31. ベルト調整レバー
ベルト交換のときに、ベルトの張りを調整します。(参照:保守部品の交換　P.31)

32. テープ
ヒーターを保護します。テープが焼けてきたり、汚れてきたら交換してください。
各ブロック、ヒーターに貼ってあります。(参照:保守部品の交換　P.25.26)





設 置

⚠警告

設置・接続・点検・故障の診断は適切な資格を有する人がおこなってください。火災・感電の原因になります。

電源を入れたまま、移動したり設置したりしないでください。火災・感電の原因になります。

⚠注意

移動・設置するときは、2人以上でおこなってください。けがの原因になります。

安定した水平な台の上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落下してけがの原因になります。

排気口をふさがないでください。火災の原因になります。

この製品は、屋内での使用を条件に設計・製造されたものです。
風通しがよく、点検が容易な、次の場所に設置してください。

- 使用周囲温度　0℃～+40℃
- 使用周囲湿度　85%以下（結露しないこと）
- 爆発性雰囲気や有害な雰囲気でないところ
- 直射日光が当らないところ
- じんあい、鉄粉などの少ないところ
- 水（風雨や水滴）、油（油滴）、およびその他の液体がかからないところ
- 塩分の少ないところ
- 連続的な振動や、過度の衝撃が加わらないところ
- 電磁ノイズ（溶接機、動力機器など）が少ないところ
- 放射性物質、磁場がなく真空でないところ

■ 設置台

Zパックを設置するときは、Zパックの背面と10cm以上の距離をとり、安定した水平な台の上に設置してください。
Zパック背面のファンより熱風が排出されますので、排気口をふさいだり、物を置いたりしないでください。

電源との接続

⚠警告

設置･接続･点検･故障の診断は適切な資格を有する人が行ってください。火災･感電の原因になります。
電源コードはむりに折り曲げたり、引っ張たり、挟み込んだりしないでください。火災･感電の原因になります。電源プラグのアース線を設置してください。感電の原因になります。

■ 電源の接続

1 電源コードのコネクタを、Zパックのインレットに差し込みます。

2 アース線をアース端子に接続します。

3 電源コードのプラグを交流100V、定格電流15A以上のコンセントに差し込みます。

お願い！

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認してから行ってください。

■ 接地用端子の接地について

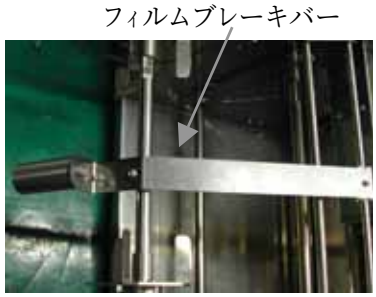
電源コードのアース線が接地できないときは、Zパックの接地用端子を必ず接地してください。接地するときは、AWG16（1.25mm²）以上の線径のケーブルに、絶縁被膜被膜付き丸型端子、菊座金を使用して製品の近くで接地してください。

フィルムのセット

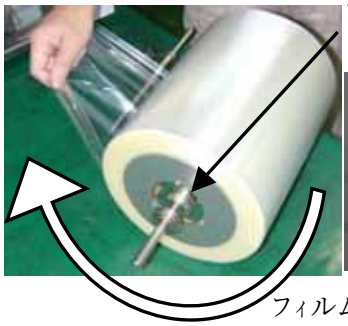
フィルムロールを装着する

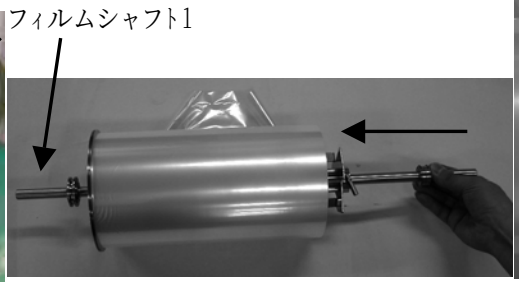
1 上カバーの両側を持って、ゆっくりロックするまで開きます。

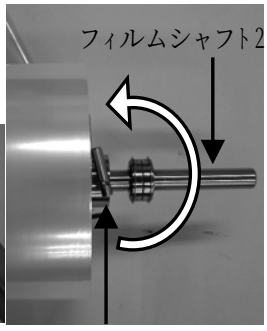
2 フィルムブレーキバーを上げて、フィルムシャフトを本体からはずします。フィルムシャフトを2つに分けます。(ネジ式になっていますので、片方を回すとはずれます)



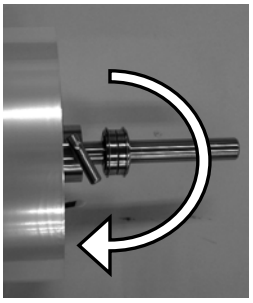
3 はじめに、フィルムシャフト1を奥までフィルムロールに差し込みます。フィルムロールの向きに注意してください。(写真左) 次に、フィルムシャフト2を適当なところでロックレバーを締めて固定し、フィルムロールに奥まで差し込みます。(写真中) ロックレバーを緩めて、フィルムシャフト2のシャフト部分を奥に入れます。シャフトがフィルムシャフト1に突き当たったら、フィルムシャフト2を回して、フィルムシャフト1にねじ込みます(写真右)。







4 ロックレバーを時計方向に回し、締めます。

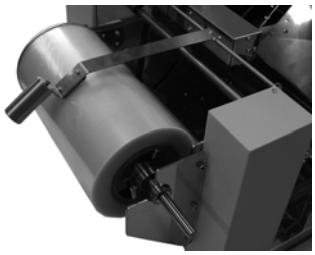


ポイント！

フィルムとシャフトは隙間がないように密着して取りつけてください。フィルムシャフトの挿入位置を間違えないでください。

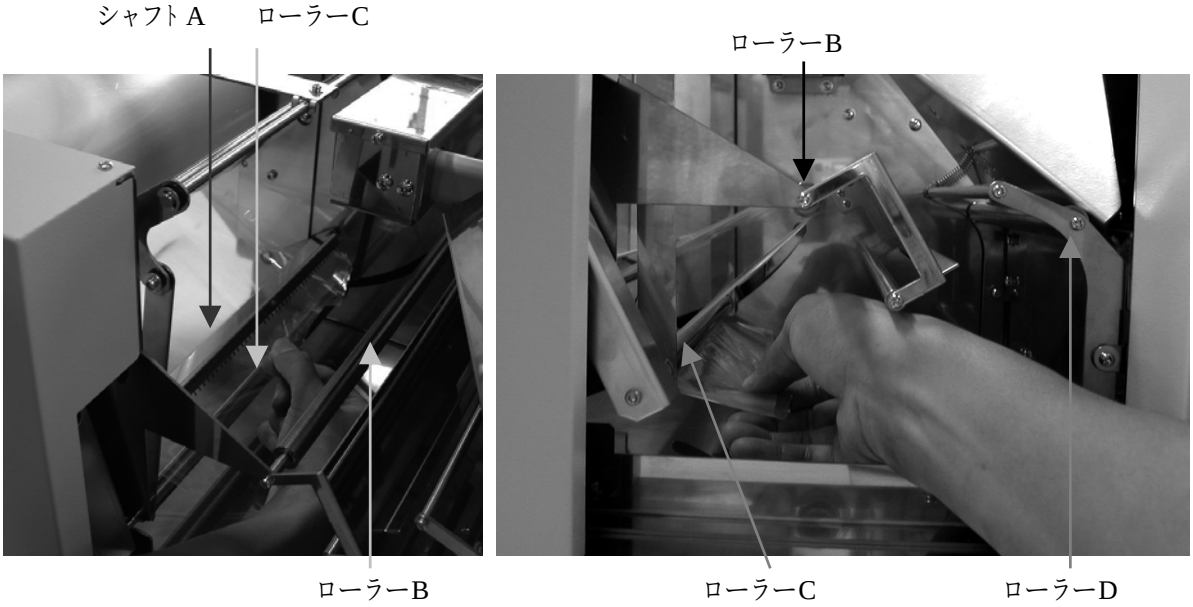
5 フィルムが付いたシャフトを本体に戻します。

フィルムブレーキバーを下ろします。

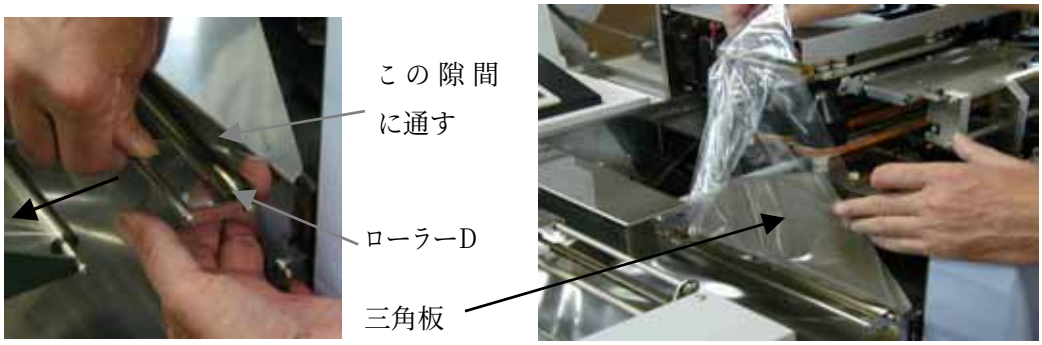


6 フィルムをシャフトAの下、ローラーB、Cの順に、たるませないように掛けていきます。

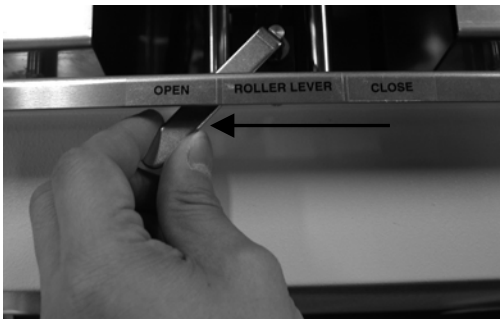
（機械本体にA、B、C、Dのシールが貼ってあります。）



7 ローラーD の取っ手を手で倒し、ローラーD と三角板の隙間にフィルムをとおし、フィンガーガードに届く程度の長さまで引き出しておきます。

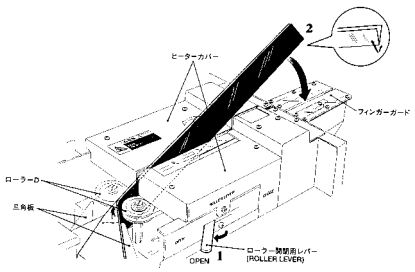


8 ローラー開閉用レバーを「OPEN」側に倒し、ローラーE を開きます。



ポイント！

フィルムのかけかた（参考）



9　三角板の上をとおり、2つ折りにして溝に入れ、フィンガーガードまで通します。

10 三角板側のフィルムとフィンガーガード側のフィルムの高さをそろえます。

ポイント！

フィルム合わせ面のズレは、2ミリ以内にそろえてください。高さがずれている場合は、折り合わせたフィルムをゆっくり左右に動かしてそろえてください

■ 緩衝材材の良否確認（目安）

良品

ズレの範囲が2㎜程度までは良品です

不良品

エアーが抜けることがあります。

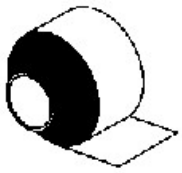
11 折り合わせたフィルムにたるみがないことを確認して、レバーを「CLOSE」にしてください。

12 手送り用ノブ（MANUAL　FEED　KNOB）をまわし、フィルムを少し送り出します。フィルムにズレがないこと、フィルムがたるみなく、ピンと張った状態でかかっていることを確認します。どこかでよじれたりした場合は、手で直してください。

13 上カバー内の右側についているバーを手前に倒し、ロックをはずしてから、ゆっくりとカバーを閉じます。

フィルムのズレ修正

装着したフィルムロールの側面が下図のようなときは、フィルム合わせ面（シール部）にズレが出やすくなります。



＊ 手前側のズレが高くなる　＊ 奥側のズレが高くなる

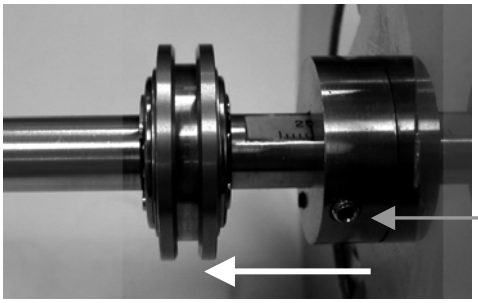
フィルム合わせ面のズレが２㎜以上のときは、フィルムシャフト1の目盛りを調整してズレの修正をおこなってください。（修正方法は下記参照）

尚、ズレの修正をした後でも、緩衝材の生産とともに、フィルム合わせの面のズレが出てくることがあります。同じ手順で再度ズレ修正をおこなってください。

フィルム合わせ面の手前側が高いとき

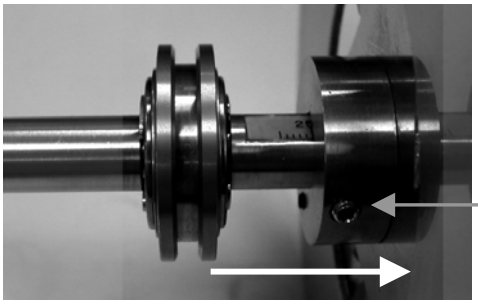
フィルムのズレている高さの半分の長さ（2.6㎜ズレているときは1.3㎜）だけフィルムシャフト1の押しネジとフィルムシャフト2のロックレバーを緩め、目盛りを奥側に移動して、再固定します。（付属の柄付きレンチを使用してください）

手動送りノブを反時計方向にまわして、フィルムロールが1周するまでフィルムを送りだし、フィルム合わせ面のズレが２㎜以内に収まったかを確認してください。



フィルム合わせ面の奥側が高いとき

フィルムのズレている高さの半分の長さ（2.6㎜ズレているときは1.3㎜）だけフィルムシャフト1の押しネジとフィルムシャフト2のロックレバーを緩め、目盛りを手前に移動して、再固定します。



操作手順

⚠警告

排気口に金属片や異物、指を入れないでください。感電・けがの原因になります。

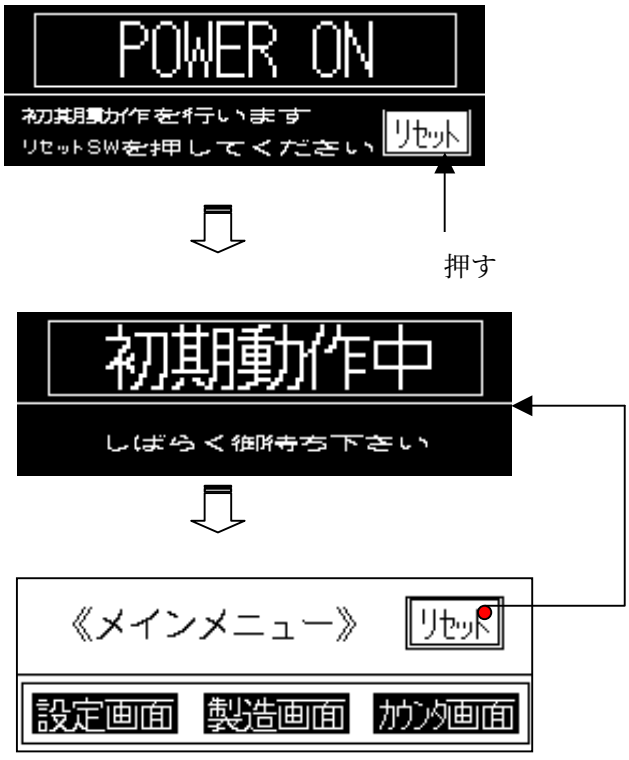
⚠注意

運転中に異常が生じたときは、すぐに電源を切ってください。火災・感電・けがの原因になります。 加工中は、ヒーターカバーをはずさないでください。やけど・けがの原因になります

1 フィルムをセットします。

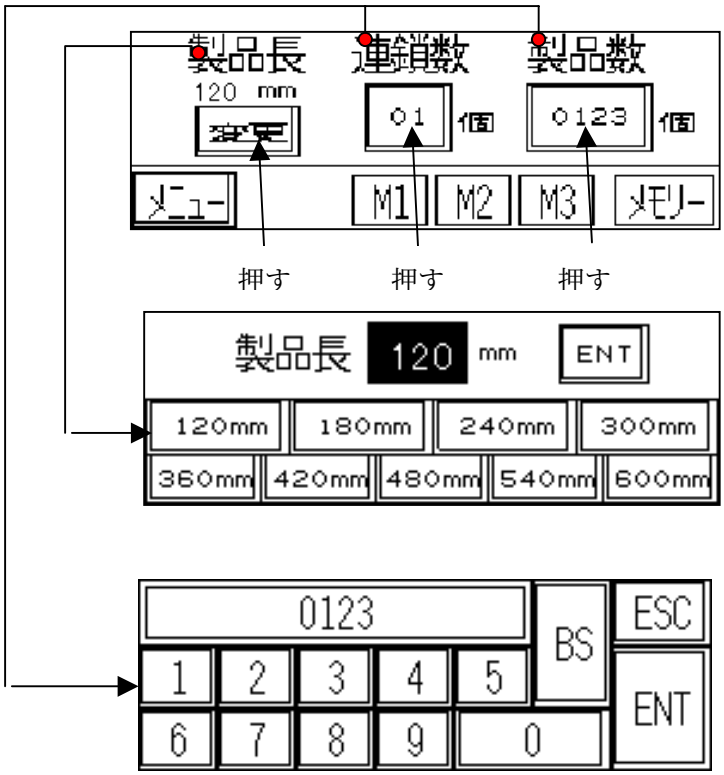
2 電源の投入
カバーを開けてローラー開閉用レバーが「CLOSE」になっていることを確認しカバーを閉じます。
電源スイッチを「|」に倒します。POWERランプが点灯します。機器内温度が20℃以上の場合は、ファンが作動します。

3 液晶パネル表示
下記の画面に従って操作をしてください。



[設定画面を選択]

緩衝材の長さ･連鎖数･製作数を設定します。

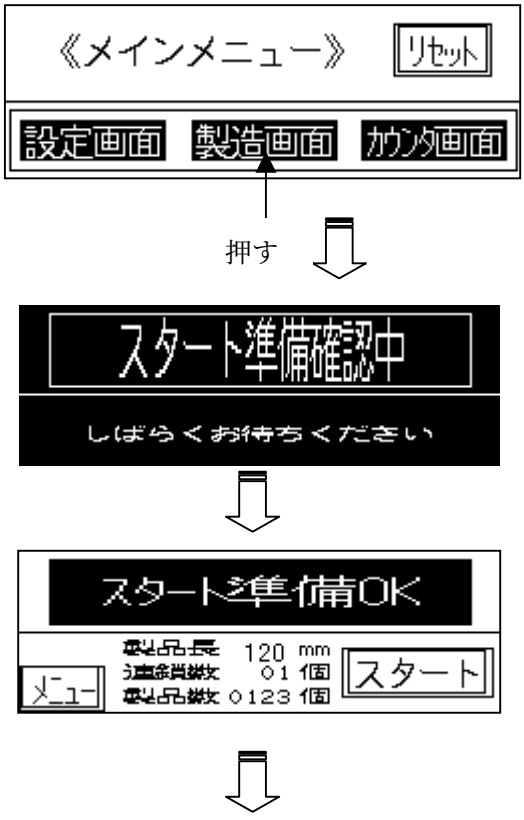


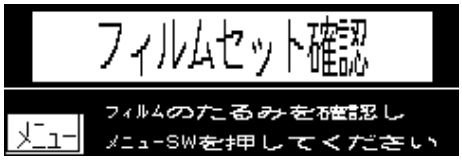
- メモリー登録の仕方
  記憶させたい製品長さ･連鎖数･製品数を選択表示させ、メモリーキーを押して、M1～M3 表示が白から黒に変わります。黒画面の時、記憶させたいモードを押すと自動記憶します。
  設定後、加工画面にするには「メニュー」を選んでください。設定完了の表示はありません。登録解除の場合、メモリーキーを押してください。
- メモリーの呼び出し
  M1～M3が白い時にM1～M3を押してください。
- 製品長 ： 「変更」を押すと下記の画面に変わります。希望の長さの部分を押してください。
- 連鎖数･製品数：各数字を押すとテンキー画面になります。数を設定してください。

- 連鎖数：1～99 ただし、360mm以上は連鎖数1のみ 製品数：1～9999

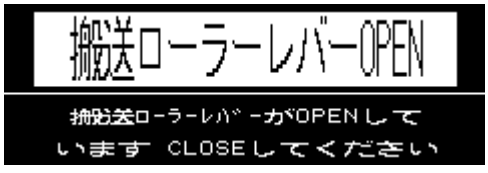
[製造画面を選択]

緩衝材の加工を開始します。





フィルムを正しくセットしてください。



カバーをしてからスタートします

スタートを押します。

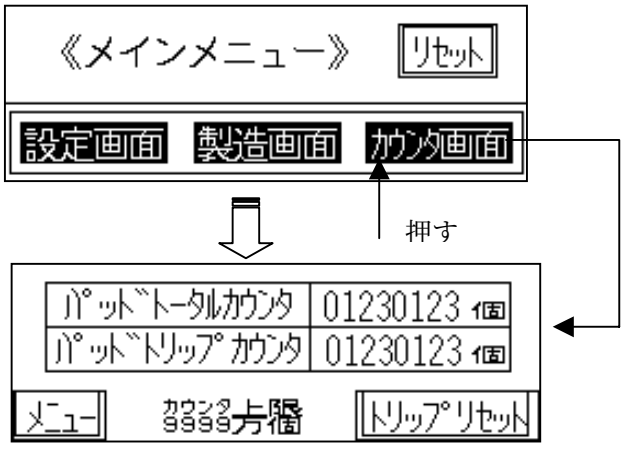
文字の流れ：「ウォームアップ完了後
オートスタートします　しばらくお待ちください」

途中で停止したい場合は、＜ストップ＞を押します。

再スタートの場合は、スタートを押します。
加工中止の場合は、メニューを押します。

[カウンタ画面]

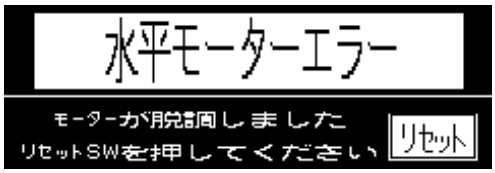
緩衝材の加工合計を表示します。



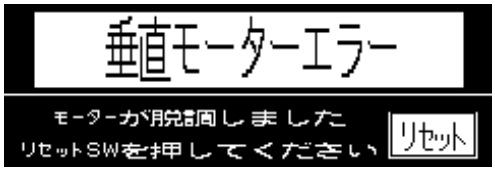
パッドトータルカウンタ　：　総合計数
パッドトリップカウンタ　：　トリップ
リセット後の
合計数

動作中のエラー画面

> ***お願い！***
>
> ***繰り返し同じエラー画面が出る場合は、お買い上げの販売店に***
> ***お問い合わせください***



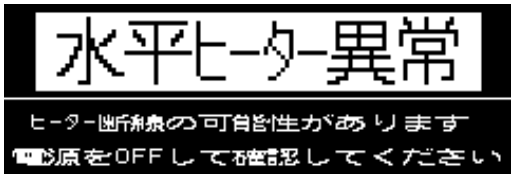
▶ リセット後、メインメニューにもどります。
始めからやり直ししてください。



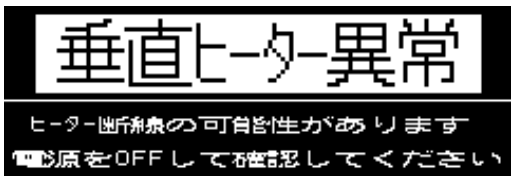
▶ フィルムを交換してください。

▶ カバーをあけて、シートのつまりを直してください。
その後、再起動してください。

■ 常駐エラー画面



▶ 水平･垂直ヒーターが断線している場合は、ヒーターを交換してください。異常がなければ再起動してください。



▶ 手や異物がフィンガーガードに入ってきた場合に表示されます。異物を取り除いてから再起動してください。

▶ 水平ファンケーブルの断線または、ファンの故障が考えられます。異常がなければ再起動してください。

▶ 垂直･内部ファンケーブルの断線または、ファンの故障が考えられます。異常がなければ再起動してください。

▶ 水平･垂直･内部熱電対の断線が考えられます。異常がなければ再起動してください。

▶ 機器内の温度が70℃以上、ヒーターブロックが80℃以上になった場合、カバーをあけて放熱してから再起動してください。マイナス5℃以下の場合もエラー表示されます。共に熱電対異常の可能性もあります。

こんなときは

点検

⚠警告

設置･接続･点検･故障の診断は適切な資格を有する人が行ってください。火災･感電の原因になります。

電源を入れたまま、移動したり設置したりしないでください。火災･感電の原因になります。

⚠注意

移動･設置するときは、2人以上でおこなってください。けがの原因になります。

運転後は素手でカッター刃に触れないでください。

排気口をふさがないでください。火災の原因になります。

定期点検

下記の表のとおりに点検してください。
操作前と操作後に異常がないかどうか確認してください。

点検項目	点検内容	点検期間	参照ページ
ヒーターブロック	汚れや焦げ付きがないか？	毎日	P25.26
Vベルト	汚れはないか？ ゆるみがないか？	毎日 3ヶ月	P30
カッター刃	磨耗や損傷がないか？	3ヶ月	P31

ベルトとOリングの清掃

ベルトとOリングに汚れがつくと、シール不良や送り不良の原因になることがあります。1週間に2～3回水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて拭いてください。

重 要

シンナーやトリクロルエチレンなどの有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を使うと、ローラーが変形したりする、おそれがあります。

保守部品の購入

■ 次の保守部品をお買い求めになる場合は、お近くの販売店までお問い合わせください。

ヒーター：HF-M （1本～）

ヒーター用テープ：TT-M （1本～）

Oリング：OR2-M （1個～）

Vベルト：VB-M （2本1セット）

カッター刃：HT-M （2枚1セット）

クッションゴム：CG2-M （1本～）

ブレーキパット：BP-M （1枚～）

ブロック用テープ：BCT-M （1巻～）

日東電工㈱ 製

ニトフロン粘着テープ 973UL

サイズ：0.15×13×10 (mm)

保守部品の交換

⚠警告

設置･接続･点検･故障の診断は適切な資格を有する人が行ってください。火災･感電の原因になります。 電源を入れたまま、移動したり設置したりしないでください。火災･感電の原因になります。

⚠注意

移動･設置するときは、2人以上でおこなってください。けがの原因になります。

運転後は素手でカッター刃に触れないでください。排気口をふさがないでください。火災の原因になります。

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。
ヒーターが完全に冷めていることを確認後、交換をしてください。

ヒーター用テープの交換 ＜TT－M＞

■ 水平ヒーターのテープ交換

1 上カバーをあけ、ヒーターカバーを取りはずします。

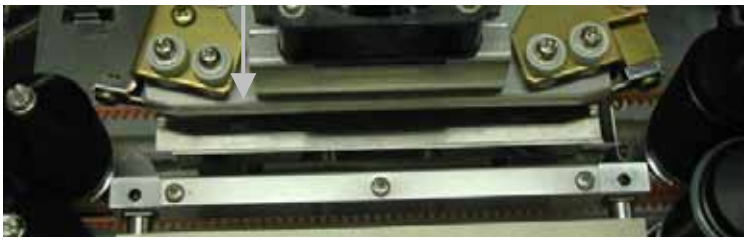
2 水平ヒーターブロックについているテープをはがし、新しいテープと交換します。

3 ヒーターカバーと上カバーを閉じます。

ポイント！

折れやしわにならないように注意して貼ってください。

テープ

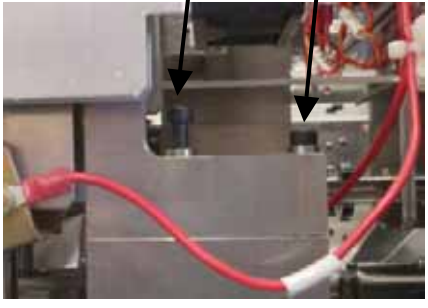


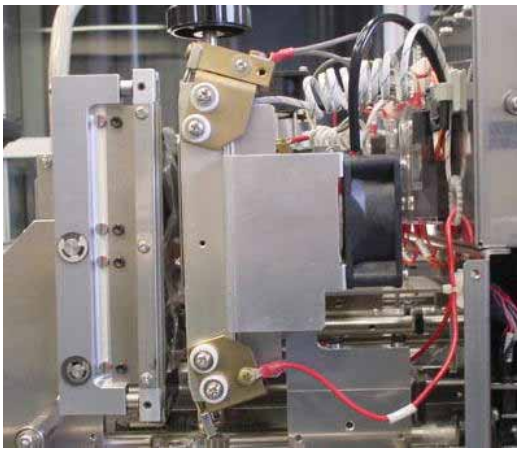
■ 垂直ヒーターのテープ交換

1 横カバーのネジ4箇所をはずして、カバーをあけます。

2 ヒーターブロックを押さえているネジ1を緩め、ネジ2をとりはずします。

ネジ1　　ネジ2





3 ヒーターブロックを動かして作業しやすくします。

4 テープを交換します。

5 横カバーを閉じます。

ブロック用テープの交換　＜BCT-M＞

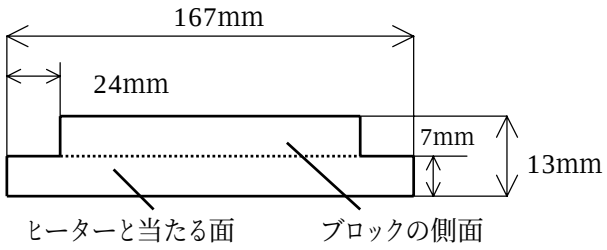
■ 垂直ヒーター用クッションゴムブロックのテープ交換

1 横カバーのネジ4箇所をはずして、カバーをあけます。

2 下図の寸法にテープをカットしてください。

3 垂直ヒーター用クッションゴムブロックの左右2枚のテープをはりかえてください。その際、ゴム全体を覆うように貼って下さい。

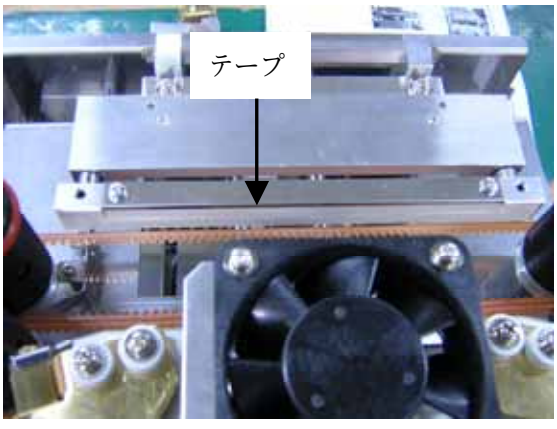
テープをはがした際に、ゴムが一緒にはがれてしまった場合は、ゴムを押さえているブロックのねじを一度緩めて下さい。



■ 水平ヒーター用クッションゴムブロックのテープ交換

1 167mm にテープをカットしてください。

2 水平ヒーター用クッションゴムブロックのテープをはりかえてください。



ヒーターの交換 ＜HF－M＞

■ 水平ヒーターの交換

1 上カバーをあけ、ヒーターカバーをはずします。

2 テープをはがします。（再度貼りなおしますので、捨てないで下さい。）

3 横のネジ2ヵ所をゆるめて、ヒーターを取りはずし、新しいヒーターと交換します。

（ネジを緩める際に、完全に取り外さないで下さい）

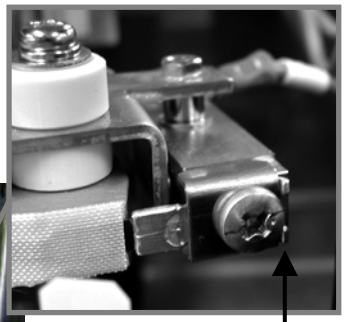
4 ネジをしめ、テープをはります。

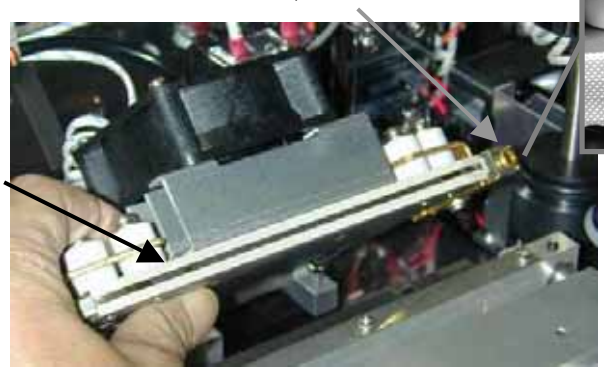
5 上カバーを閉じます。

ポイント！

ヒーターを取りつけるときに、ツメの向きに注意してください。 ツメは手前に向けてください。

水平ヒーター右部分の拡大図





■ 垂直ヒーターの交換（2本）

1 横カバーのネジ4つをはずし、カバーを開けます。

2 ヒーターブロック固定しているネジ1を緩めネジ2をぬきとります。（垂直テープの交換を参照）

3 ヒーターブロックを作業しやすい位置に動かします。

4 それぞれのテープをはがします。（再度貼りなおしますので、捨てないで下さい。）

5 上下のネジ4ヵ所を緩めてヒーターをとりはずし、新しいヒーターと交換します。

6 ネジをしめ、テープをはります。

7 横カバーを閉じます。

クッションゴムの交換＜CG2－M＞

■ 水平クッションゴムの交換

1 上カバーをあけ、ヒーターカバーをはずします。

2 クッションゴムのついているブロックの六角穴付きボルト2ヵ所を緩めて、ブロックをはずします。

3 テープをはがし（再度貼りなおしますので、捨てないで下さい）、ゴムを押さえているブロックのネジ2ヵ所をドライバで緩め（完全に取り外さないで下さい）、クッションゴムをはずします。

4 新しいゴムと交換します。

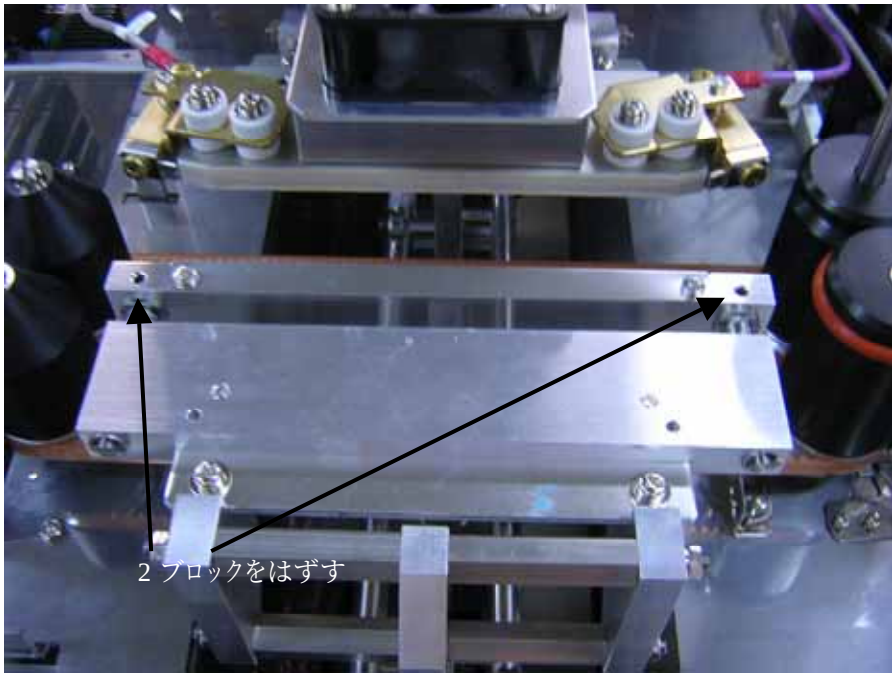
5 ネジ止めし、テープを貼り、ブロックを元の位置に戻し、六角穴付きボルト2ヵ所を締めます。

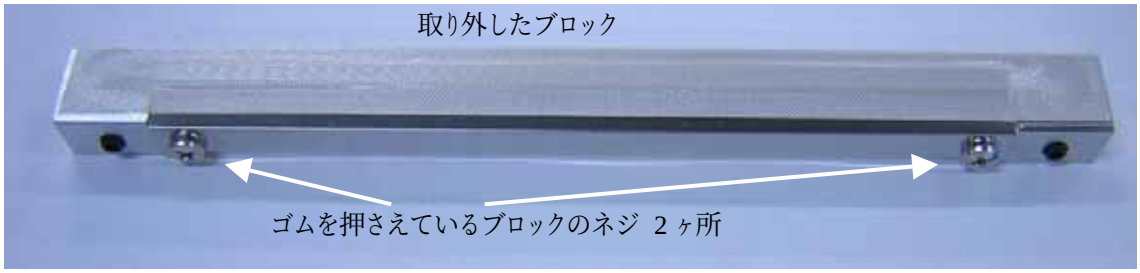
6 上カバーを閉じます。

ポイント！

ゴムと取りつけるときは、しっかりと奥まで押しこみ固定してください。

ゴムが浮いていると、シール不良の原因となります。





■ 垂直クッションゴムの交換

1 横カバーのネジ4ヵ所をはずして、カバーを開けます。

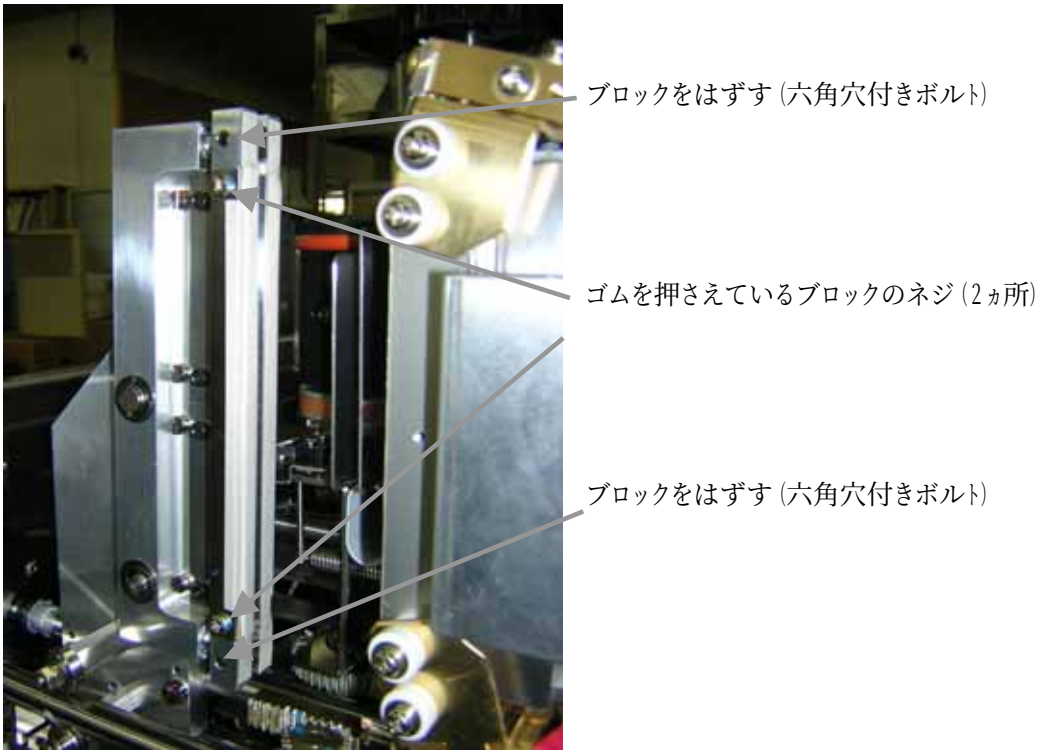
2 ゴムのついているブロックの六角穴付きボルト2ヵ所を緩めて、ブロックをはずします。

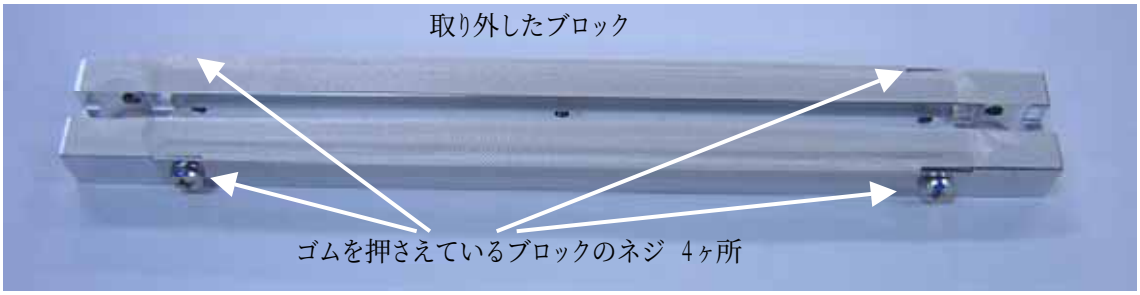
3 ゴムを押さえているブロックのネジ2ヵ所を緩めて、テープをはがし（再度貼りなおしますので、捨てないで下さい）、ゴムをとりだし、新しいゴムと交換します。

4 ゴムを押さえているブロックのネジ2ヵ所を締めて、ゴムを固定し、テープを貼り、ブロックをもとの位置に戻します。

5 六角穴付きボルトでブロックを固定します。

6 横カバーを閉じます。



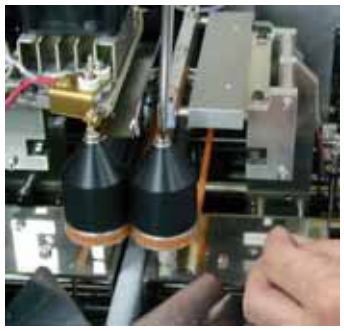


Vベルトの交換＜VB－M＞

ベルトをはずす

1 上カバーをはずし、ヒーターカバーをはずします。

2 手前側ローラーEの上のネジを緩めて、とりはずします。

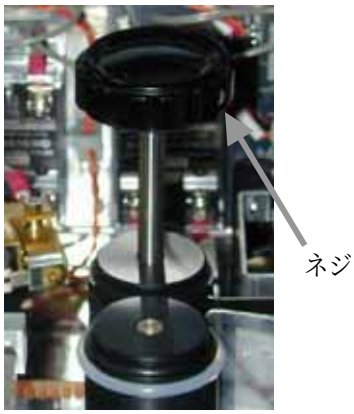


3 手前側ローラーF（Oリングがついている）の胴体の真中あたりに付いているネジを緩めて、ローラーをとりはずします。

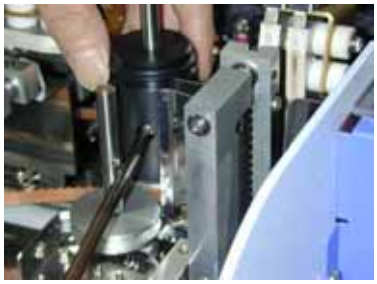
4 ベルトをはずします。

5 奥側ローラーEの上のネジを緩めて、とりはずします。

6 手動送りノブのネジを緩めて、手動送りノブをとりはずします。



7 奥側ローラーFのネジを緩めて、とりはずします。



8 ベルトをはずします。

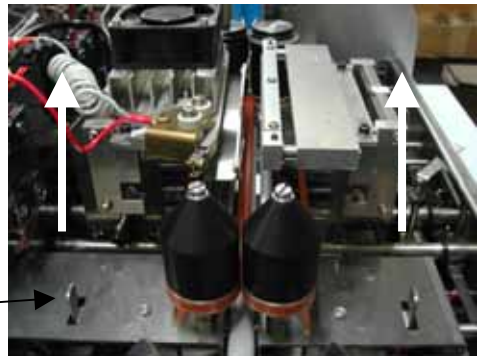
ベルトをつける

1 奥側ローラーFにベルトをつけて、ローラーFを元の位置に戻してネジを締めて固定します。

2 手動送りノブを取りつけます。

3 ローラーEにベルトをかけて、もとの位置に戻します。

4 ベルト調整レバーを右方向に倒しながらネジを締めて固定します。



5 手前ローラーFにベルトをかけて、もとの位置に戻し、ネジを締めて固定します。

6 手前側ローラーEにベルトをかけて、もとの位置に戻します。

7 ベルト調整レバーを右方向に倒しながらネジ締めて固定します。

8 上カバーを閉じます

カッター刃の交換＜HT－M＞

1 横カバーのネジ4箇所をはずして、カバーをあけます。

2 クッションゴムのついているブロックをはずします。(参照:クッションゴム交換 P.27)

3 刃は2枚上下に分かれているので、各々の六角穴付きボルトをはずし刃をとりはずします。

4 新しい刃の刃元を奥のネジ部分に押し付け、隙間をあけないようにネジを締めます。

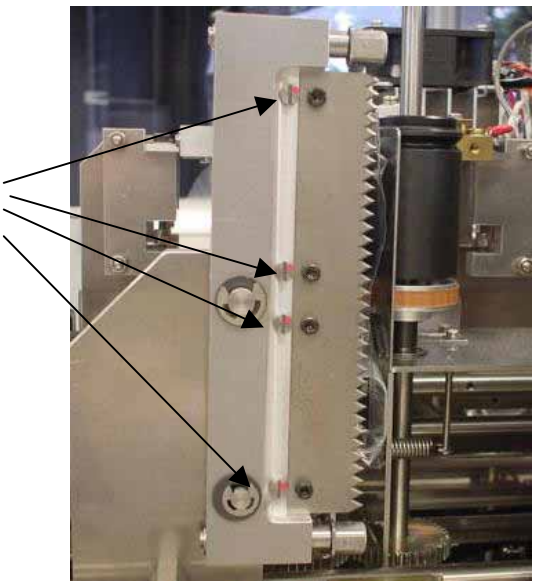
5 クッションゴムの付いているブロックを取りつけます。

6 横カバーを閉じます。

刃の調整

緩衝材が設定した連鎖数で切れていないときは、カッター刃横の調整ネジ**4ヶ所**でカッター刃の位置を調整して押し出し量を多くしてください。

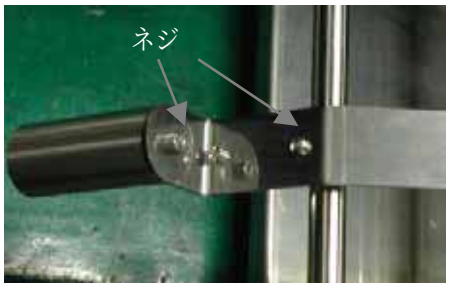
1 付属のレンチでカッター刃取りつけネジを緩めます。
2 マイナスドライバで調整ネジを時計方向に回しでカッター刃を右方向に押し出します。調整ネジの回転範囲は90度です。
3 取り付けネジを締めます。



> ***お願い！***
> ***調整ネジは、最適位置に調整して出荷していますので、むやみに調整しないでください。***

ブレーキパットの交換＜BP－M＞

1 ネジを緩めて、ブレーキパットをはずす。
2 新しいパットと交換したら、ネジ止めし固定します。



Oリングの交換＜OR2－M＞

1 カッターを使い、溝の隙間からローラーF に取り付けてある O リングを切り取ります。
2 新しい O リングを取り付けます。

正常に動作しないときは

Z パックが正常に動作しないときは、次の表にしたがって点検し、適切な処置を施してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠警告

設置・接続・点検・故障の診断は適切な資格を有する人がおこなってください。火災・感電の原因になります。

電源を入れたまま、移動したり設置したりしないでください。火災・感電の原因になります。

⚠注意

移動・設置するときは、2人以上でおこなってください。けがの原因になります。

素手でカッター刃に触れないでください。けがの原因となります。

排気口をふさがないでください。火災の原因になります。

異常の内容	予想される原因	処置
POWERランプがつかない	●ヒューズが切れている	・ヒューズホルダー内のヒューズを確認してください。 2個のヒューズのうち、1個でも切れていたときは、新品と交換してください。 交換ヒューズ：125V 10A のガラス管(φ6.4×30)のヒューズ (サトーパーツ製 F-7161 10A など)
	●電源スイッチが入ってない	・電源スイッチが「｜」側に倒れているか確認してください。
	●カバー開いている	・カバーを完全に閉じてください。
フィルムシール部のズレが大きい(2㎜以上)	●フィルムシャフト2のロックレバーが緩んでいる	・ロックレバーを奥側に倒してください。
	●フィルムロールの側面がずれています	・ズレ幅に応じて、シャフト2の位置を調整してください。 ⇒P.17
緩衝材のエアーがすぐ抜ける	●フィルムシール部がズレている	・フィルムズレは2㎜以内になるように調整してください。⇒P.17
緩衝材が設定した連鎖数できれない	●カッター刃の押し出し量が不足している	・カッター刃調整ネジを時計方向にまわして、カッター刃の押し出し量を大きくしてください。 ⇒P.32
緩衝材の長さが設定より短い	●Vベルトの汚れ	・Vベルトを中性洗剤を含んだやわらかい布で軽く拭いてください。 ⇒P.23
Vベルトがはずれている	●ローラーEのネジがゆるんでいる	Vベルトを張った状態で、ローラーEのネジを締めなおしてください。⇒P.30

付録

仕様

製品の性能、仕様、および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 機械仕様

生産能力	MAX40 **個/分**
設定	**連鎖数**（1～99 **個**） ： **製品長** 120 **㎜**～300 **㎜** **連鎖数**（**1個**） ： **製品長** 360 **㎜以上** **連続可能生産数**（1～9999 **連**）
電源	AC100V 50/60Hz 8A
外形寸法	W964mm×D446mm×H435mm
質量	50kg

■ 使用フィルム

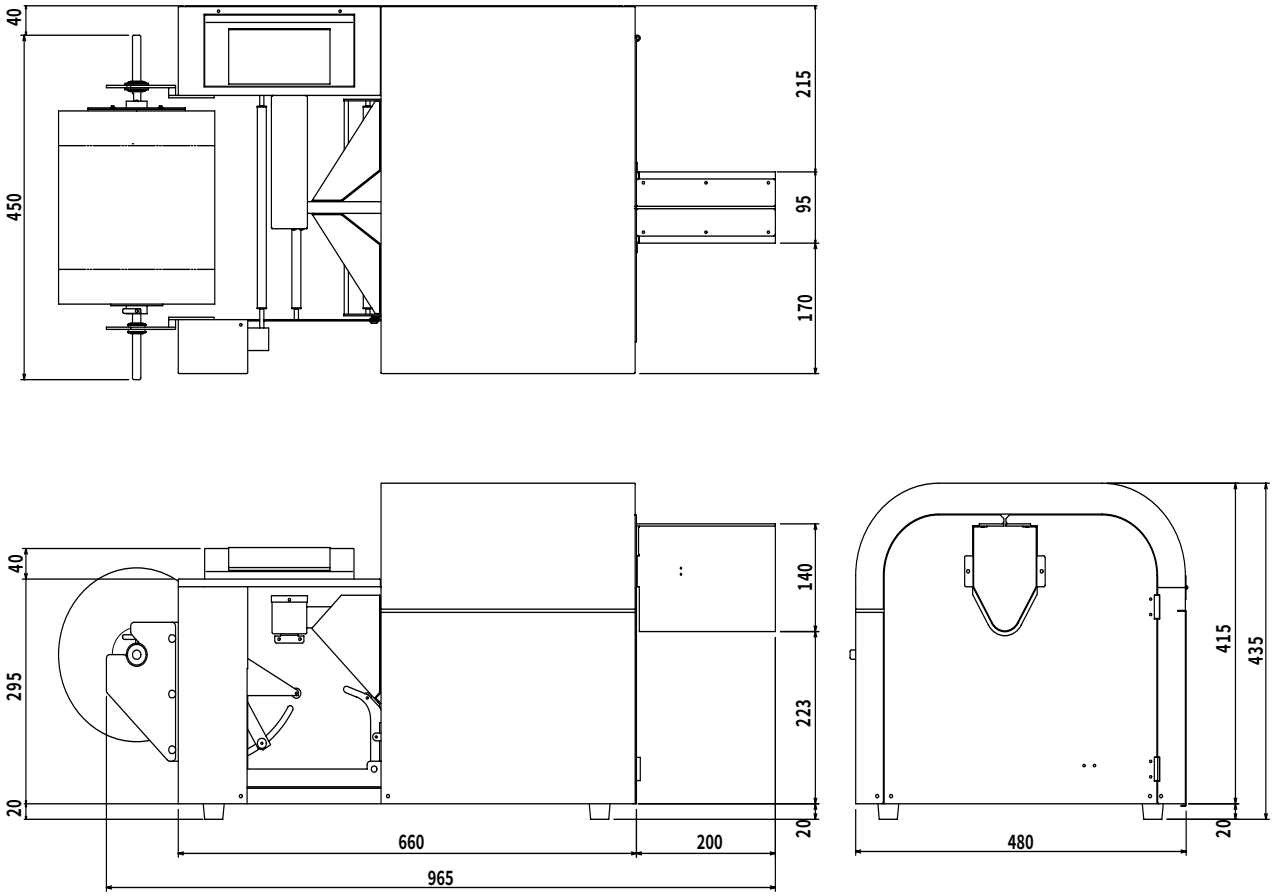
品名	**材質**	**規格**	**梱包単位**
ZFL-250	PE/PET	32 **μ**m **厚**×250 **㎜幅**×1000**m**	2
ZFL-250P（**印刷入り**）	PE/PET	32 **μ**m **厚**×250 **㎜幅**×1000**m**	2

■ 緩衝材仕様

品番	**パッドサイズ**（**幅**×**長さ**）	1 **分間製造個数**	**連鎖**
M1	95 **㎜**×120 **㎜**	40	**ミシン目入り**
M2	95 **㎜**×180 **㎜**	24	**ミシン目入り**
M3	95 **㎜**×240 **㎜**	20	**ミシン目入り**
M4	95 **㎜**×300 **㎜**	15	**ミシン目入り**

*長さ 60 ㎜単位刻み MAX600 ㎜まで

外形図



保証とアフターサービス

万一不都合が生じた場合は、次のように保証いたします。

●保証期間

本機の保証期間は、納入後 1 年間です。

●保証内容

上記の保証期間に正常な使用状態で、この製品を構成する純正部品や当社が指定した部品が、その素材または構造上の不具合が原因で、何らかの故障が生じた場合、無償で修理または交換いたします。ただし、この製品の故障、誤動作または不具合により発生した損害、逸失利益などの付随的損害の補償や第三者への補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●保証除外事項

次の場合、保証は除外されます。

1.経時変化あるいは使用損耗により発生する不具合(塗装、メッキなどの自然退色、保守部品の劣化など)。

2.この製品の品質･機能上影響のない軽微な感覚的症状。

●無償修理の対象外

次に示すものに起因すると認められる故障については、無償修理いたしません。(有償修理になります)

1.地震、台風、水害、落雷などの天災または事故、火災など。

2.当社によって認められてない改造など。

3.純正部品および指定保守部品以外の使用。

4.保守点検上の不備または間違い。

●ご不明な点や修理に関するご相談

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。

損傷や紛失などにより、取扱説明書が必要なときは、最寄りの販売店に請求してください。

取扱説明書は、製品の改良や仕様変更および取扱説明書の改善のために、予告なしに変更することがあります。取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社　造研

〒192-0355　東京都八王子市堀之内2-21-9

TEL:(0426)75-2111　　FAX:(0426)75-2142

URL:http://www.zouken.co.jp

この取扱説明書は、2006 年 1 月現在のものです。

A1267-907-1